

---

# Love and Hatred

姫榎きあれっと

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Love and Hatred

### 【コード】

N1066B

### 【作者名】

姫榊きあれつと

### 【あらすじ】

屋敷に住む儂げな王子をめぐるお話。彼に魅せられた少女達の行く末は。

# 1・歌姫少女「SCHEME」(前書き)

時に残酷なお話ですので、閲覧は充分注意して下さいませ。

## 1・歌姫少女「SCHEME」

其れは遠い昔の話なのか、それとも今も続いているのか…何千と  
いう種類の花が庭園に咲き誇る国があった。

まだ幼い、国の王子は宮殿から離れた屋敷に住んでいた。ただ彼の  
姿は屋敷の中に見られず、細かい柄の純白のカーテンが風に揺れて  
いるだけ。部屋の窓が開いているということだった。

彼は屋敷の庭園の薔薇の前に座り込み、笑みを浮かべていた。  
やさしく笑う王子ははかなげで、その先の人生を物語っているよう  
だった。刺に触れた手から少しの血が流れても、愛しそうに見つめ  
る。

その姿を影から見守るのは、近くに住む街娘。  
彼女は夏から彼に恋をしていた。

人は彼女を歌姫、と呼んでいた。街の企画でいつも歌手として歌い、  
男性たちを虜にしている。…そんな彼女がいつこつに心を許さな  
いのは、こつといった理由があったからだつた。

「またあの屋敷に行つていたのか！！歌の稽古もせず！！」

「ああ、ごめんなさいお父様…でも私…」

「いいわけは要らない。明日からはお前を外へは出さないからな」

少女は父親の言葉に悲しみを隠せなかったが、それでも王子のこ  
とを忘れられない。街一番の美貌を持つ彼女は同時におてんばでもあ  
り、これしきの事ではへこたれなかった。

「そつよ、窓から降りましょつ」

こっそりと二階の自室の窓を開けると、降りられない事もない。ただ、危険は伴うだろうが。

「明日も王子様を見に行けるわ」

今の彼女には、危険を冒してまで王子を見ることしか眼中にないらしい。

その夜、少女は布団を頭まで被って考えた。

（明日は、王子様とお話しましょう。いつ会えなくなるか判らないんだから）

そうして、夜は更けていった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1066b/>

---

Love and Hatred

2010年12月22日14時39分発行